

# クルマ情報 TOPICS

## エコカーの補助金事業が始まりました

令和2年度第3次補正予算 CEV補助金は従来事業より増額

### 3月26日から申請がスタート

クリーンエネルギーに加え、災害に強い自動車等の普及拡大を目的とする国の補助事業（令和2年度第3次補正予算 CEV補助金）の申請が3月26日（金）からスタートしました。電気自動車（EV）をはじめ燃料電池自動車（FCV）などの電動車とそれに付帯する設備などの購入にあたり、それに応じた補助金が交付されるというものです。

補助事業は経済産業省と環境省の2本だてとなっており、それぞれの目的で選ぶことができます。経済産業省はエコカーと外部給電器もしくはV2H充放電設備を同時に購入する個人が対象です。外部給電器とは家庭で使用できる電力をクルマから取り出す機器のこと。また、V2H充放電設備とは電気自動車などを充電するだけでなく、貯めた電気を家庭で使用できる機器のことをいいます。この両者を購入することで申請することが可能です。なお、車載コンセント（1500W/AC100V）から電力を取り出せる給電機能がある車両については別途外部給電器・V2H充放電設備を購入しなくとも補助金の対象となります。

一方、環境省事業はエコカーと再エネ電力の100%調達を条件にすることで個人、法人とも申請が可能です。

### 従来の補助事業よりも増額

補助金の上限額は上表の通りですが、金額はクルマやグレードによって異なります。例

表1 令和2年度第3次補正予算 CEV補助金上限額と例（万円）

	令和2年度補正CEV補助事業		従来CEV補助事業
	経済産業省	環境省	
EV	60	80	40
リーフ（ZE1）	最大60	最大80	42※
PHV	30	40	20
エクリプスクロス	28.8	38.4	22※
FCV	250	250	225
ミライ（JPD20）	140.3	140.3	117.3
V2H 充放電設備	設備費	75	75
	工事費	個人40	個人40 法人等95
外部給電器	設備費	50	50

出典：一般社団法人 次世代自動車振興センター

※AC100V 1.5kW コンセント（オプション装備設定も含む）もしくは外部給電器・V2H 充放電設備を経由して電力を取り出すことができる車両については、補助金交付上限額に関係なく、一律2万円を増額。

例えば、日産のEV、リーフ（ZE1）の場合、経済産業省事業で最大60万円、環境省事業で同80万円が補助されます。三菱自動車のエクリプスクロスPHEVの場合は、経済産業省事業で28万8,000円、環境省事業では38万4,000円が補助されます。そして、トヨタのFCV、ミライ（JPD20）は両省事業で各140万3,000円の補助となっています。今回の申請では従来の補助金より増額されている点が特徴です。

申請書受付期間は3月26日から9月30日までですが、予算不足の恐れが生じた場合、補助金交付申請期間が短縮となる可能性があります。なお、申請受付前（2020年12月21日以降）に対象製品を購入している場合でも申請が可能です。申請に関する詳細は下記ホームページで確認することができます。

<http://www.cev-pc.or.jp/hojo/r02hosei-cev.html>



東京海上日動のおクルマ購入サポート制度をご利用ください。



自動車販売店へご訪問する前にご相談ください。